

平成29年度 新潟水俣病講演会 いま、水俣病を考える ～私たちができること、すべきこと～

新潟水俣病公式確認から50余年、新潟県では、新潟水俣病への理解を深めてもらい、その経験や教訓を将来に伝えていくための講演会を開催します。

今回は、熊本県水俣市で胎児性水俣病患者さんなどのために設置された小規模多機能ホーム「ほっとはうす」を運営する加藤タケ子氏による講演と、新潟から水俣を訪れた子どもたちからの報告及び水俣病等環境教育・啓発活動を推進する現場からの事例報告を行い、より多様な層に向けた水俣病問題の伝承について考えます。



伊勢みずほさん

日時 平成29年 **11月26日(日)** 午後**2時～4時半**
(受付 午後1時30分から)

会場 **ラマダホテル新潟3階 華の間**
新潟市中央区弁天1丁目2番4号 (TEL 025-244-5151)

プログラム **司会 伊勢みずほ** 氏 (フリーアナウンサー)

I. 講演 加藤 タケ子 氏

(社会福祉法人さかえの杜代表理事・統括施設長 ほっとはうす、おるげ・のあ)
「今、水俣から伝えたいこと～胎児性患者等の挑戦とほっとはうす」

東京での水俣病患者支援活動を契機に水俣に移住。以来、胎児性・小児性水俣病患者等の地域生活支援にエネルギーを注ぐ中、水俣病患者で漁師の故杉本栄子さん(初代理事長)等の支持の下、小規模多機能ホーム「ほっとはうす」を設置・運営。

II. 報告

◆子どもたちからの報告「熊本県水俣市を訪ねて～水俣病発生地域間交流の報告」

交流事業参加児童3名(県内小学校5年生)

- ◆事例報告 「水俣病教育・啓発における『伝える』取り組み」
- | | | |
|---------|----------|-------------------------|
| 報告者 | 渡邊 敏文 氏 | (新潟医療福祉大学 教授) |
| | 和泉 哲章 氏 | (新潟市立南浜中学校 校長) |
| | 吉川 恒夫 氏 | (阿賀野市立水原小学校 教諭) |
| | 坂詰 明広 氏 | (新潟県医療ソーシャルワーカー協会 会長) |
| コメンテーター | 加藤 タケ子 氏 | (社会福祉法人さかえの杜代表理事・統括施設長) |
| | 塚田 眞弘 | (新潟県立環境と人間のふれあい館 館長) |

ご参加について 参加費無料
定員100名(当日先着順)

主催・お問い合わせ先

新潟県(新潟県立環境と人間のふれあい館)
〒950-3324 新潟市北区前新田字新々囲乙364-7
TEL 025-387-1450 FAX 025-387-1451

会場ご案内



- ◆JR新潟駅万代口 徒歩1分
- ◆駐車場は、最寄りの有料駐車場をご利用ください(ラマダホテル駐車場も有料となります)